

◆今期間のポイント

<主要じょう乱の概要>

- 7日は、低気圧がオホーツク海に進み、日本の南の前線は東進する。
- 8日は、前線が大陸から沖縄・奄美付近にのびる。気圧の谷が北日本を通過する。
- 9日から10日は、高気圧が東シナ海に移動して日本海に張り出す。前線が日本の東から沖縄・奄美付近にのびる。
- 11日は、低気圧がオホーツク海へ進み、高気圧が日本付近へ移動する。

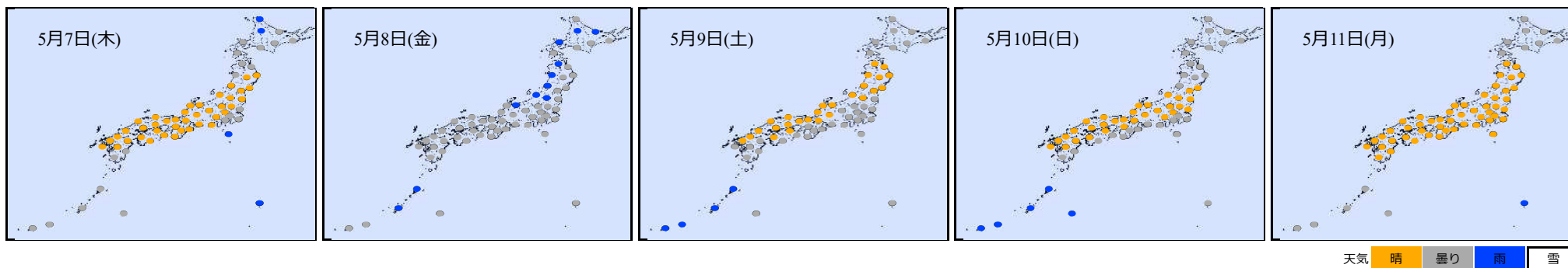
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

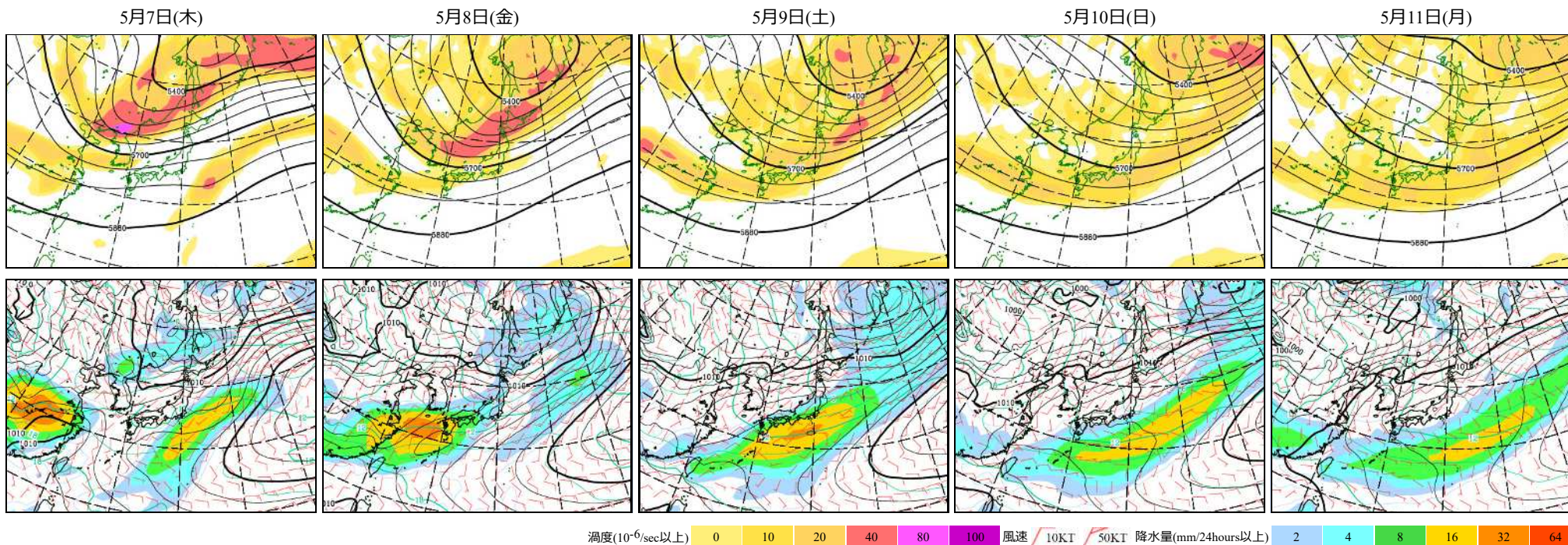
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

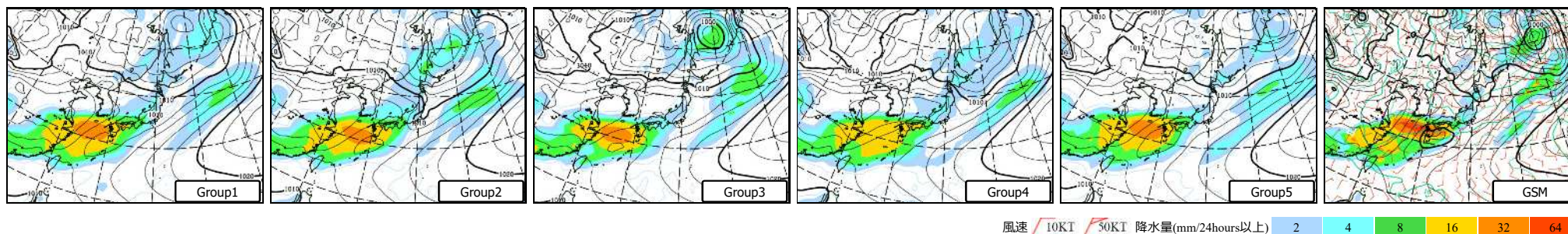


- 北日本は、曇りや晴れの日が多い。7日から8日にかけては、雨が降る所がある。
- 東日本は、晴れまたは曇りの日が多いが、8日は雨が降る所がある。
- 西日本は、晴れまたは曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨が降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月8日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、8日に日本海に進むトラフがやや深くなった。
- 各モデルともに、8日以降のトラフの予想に初期値変わりがあり、8日から10日に日本付近を通過する低気圧または前線の予想には、モデル間の差がある。
- 8日の低気圧や前線の位置について、ENSは海外モデルに近い予想を示すメンバーの他、日本付近に低気圧を予想するメンバーも含んでいる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考えるが、8日と9日の降水域については、海外モデルの予想を参考に、降水域を南に下げて考える。

今日から明日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。